



2026年5月15日

各 位

会 社 名 キーコーヒー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 柴田 裕
 (コード番号 2594 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 福田 厚
 (電話番号 03-3433-3311 (代))

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について アップデートのお知らせ

2025年5月15日に公表いたしました、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に関する進捗状況ならびに今後の取り組み内容等をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)」をご覧ください。

以 上



コーヒーという情熱

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)

キーコーヒー株式会社

2026年5月15日

目次



コーヒーという情熱

1. 主要経営指標の推移
2. 資本コストと資本収益性
3. 資本収益性向上のための課題
4. PBR・PER分析
5. 中期経営計画
6. ROE向上に向けた取り組みの方向性

Appendix



コーヒーという情熱

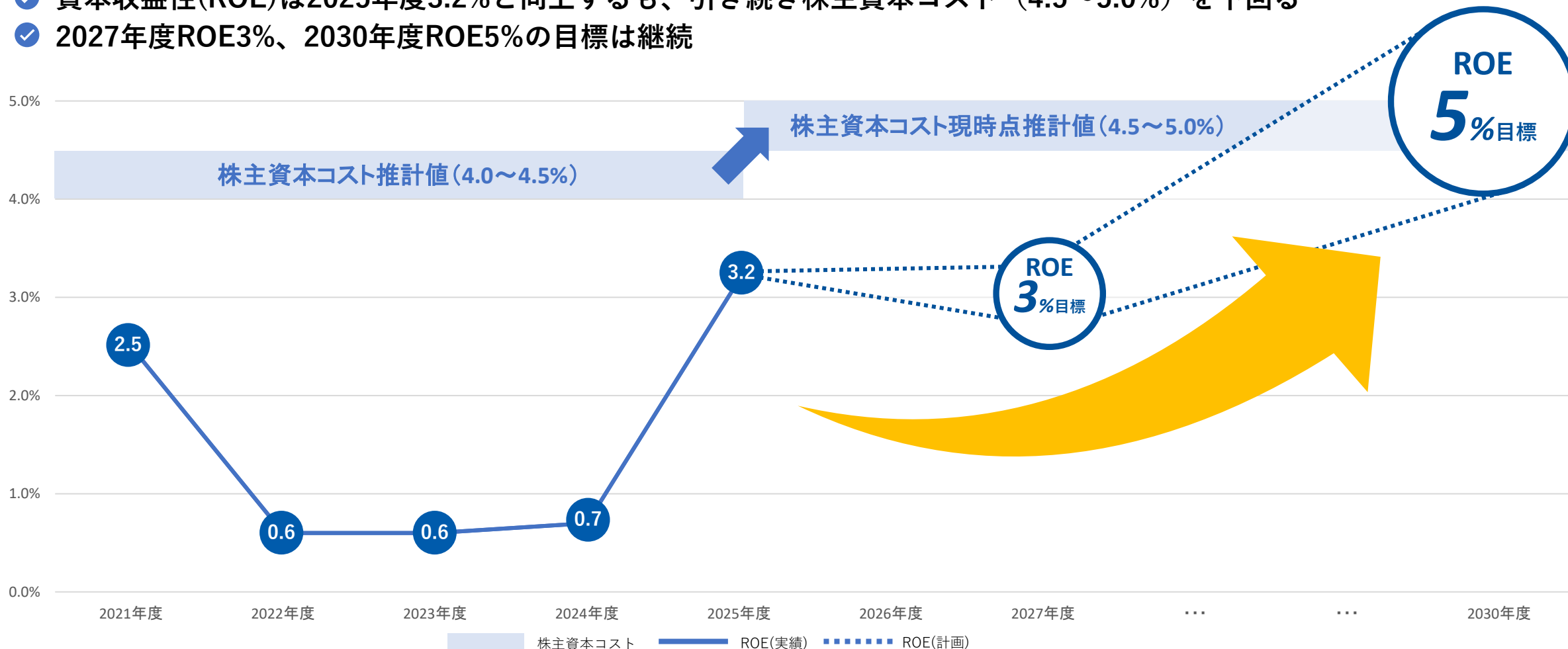
1. 主要経営指標の推移

- ✓ 2025年度は収益力強化、経営基盤強化、グループ総合力強化の戦略により増収、増益を達成
- ✓ 収益向上によりROEは大幅に改善
- ✓ PBRは1倍以上を維持

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高（百万円）	55,680	63,298	73,800	77,783	93,067
営業利益（百万円）	405	244	764	486	1,077
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	742	173	180	214	988
ROE（%）	2.5	0.6	0.6	0.7	3.2
PBR（倍）	1.44	1.43	1.43	1.41	1.35
PER（倍）	57.8	250.4	238.4	204.2	42.9

2. 資本コストと資本収益性

- ✓ 株主資本コストを従来4.0～4.5%程度と推計していたが、長期金利上昇も加味し現状4.5～5.0%程度と推計
- ✓ 資本収益性(ROE)は2025年度3.2%と向上するも、引き続き株主資本コスト（4.5～5.0%）を下回る
- ✓ 2027年度ROE3%、2030年度ROE5%の目標は継続

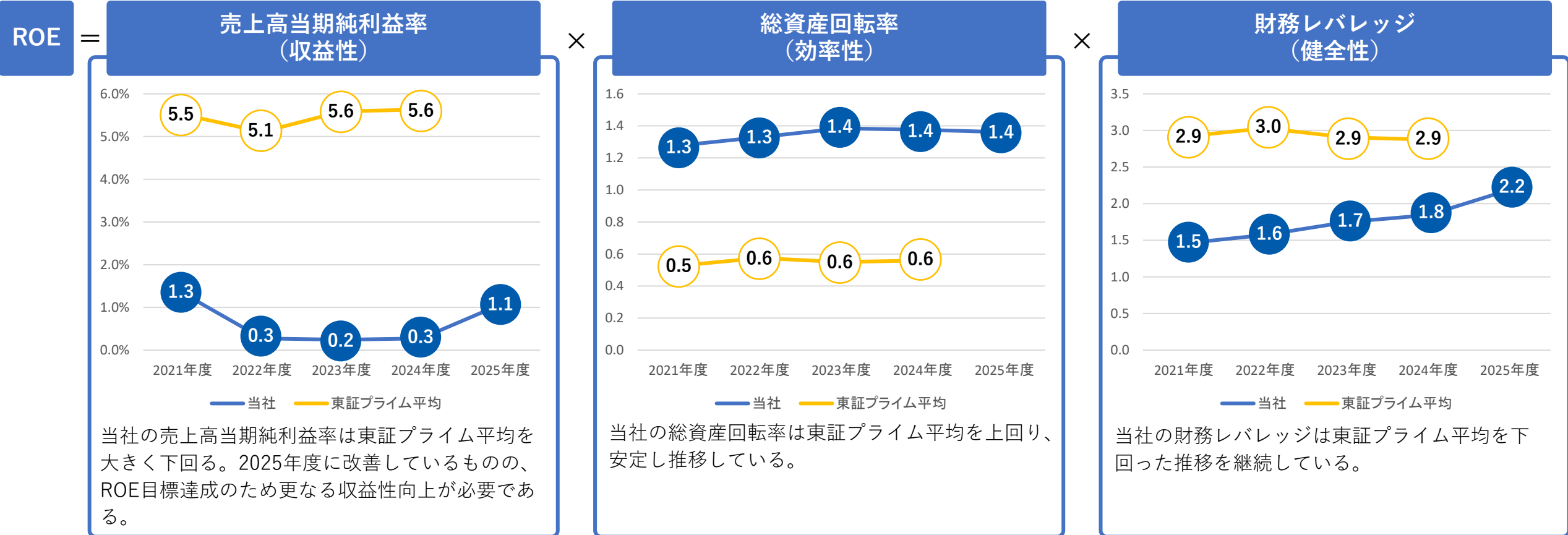


※株主資本はCAPMにより算出（株主資本コスト＝リスクフリーレート＋β×市場リスクプレミアム）

株主資本コストの把握については、機関投資家との対話も踏まえている。

3. 資本収益性向上のための課題

- 当社の売上高当期純利益率は2025年度1.1%と改善しているものの東証プライム平均を大きく下回っており、ROEが低水準である要因となっている。
ROE目標達成のため、収益性向上が継続課題である。



※東証プライム平均は加重平均値

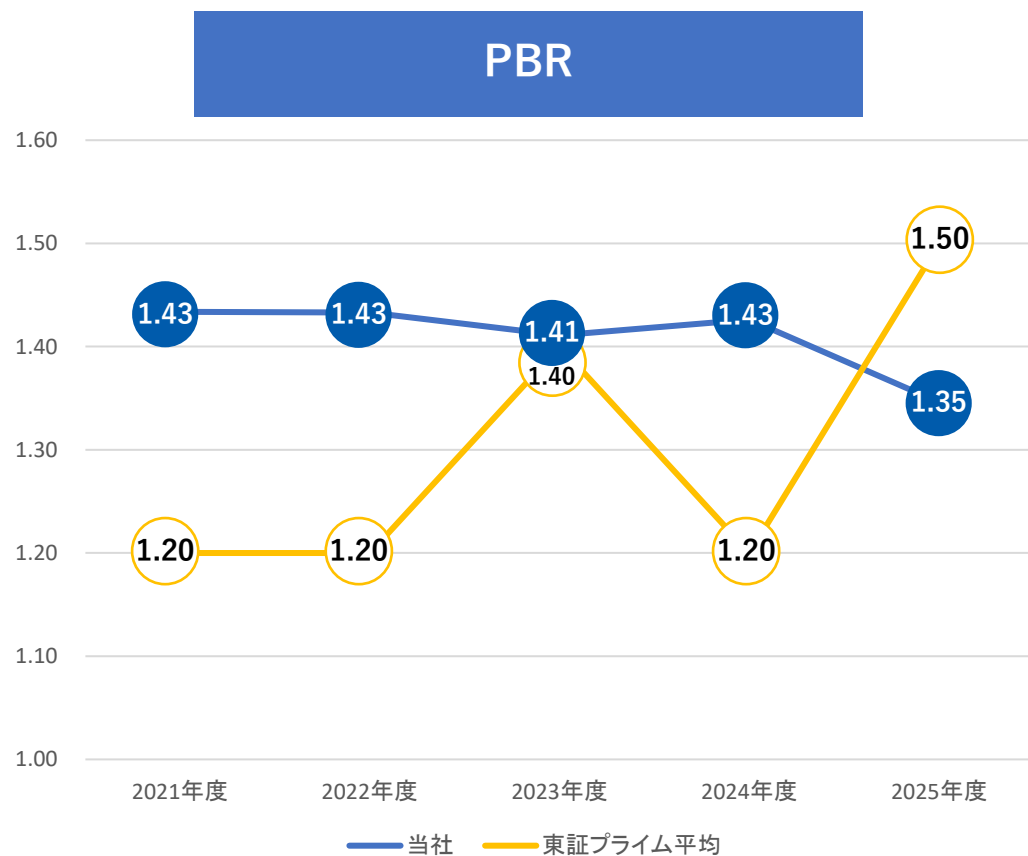
※東証プライム平均の2021年度数値は東証一部の数値

4. PBR・PER分析



コーヒーという情熱

- ✔ PBRは継続して1倍を上回る
- ✔ 継続してPBRの維持向上を図る



※東証プライム平均は単純平均値

※東証プライム平均の2021年度数値は東証一部の数値

5. 中期経営計画



コーヒーという情熱

- ✓ ROE向上を目的とし、収益性の向上に重点的に取り組む。
- ✓ 2030年度ROE5%達成に向けて、2026年度はブランド価値向上・人的資本経営推進のための戦略的な先行投資を積極的に実施する。

	2025年度 (実績)	2026年度	2027年度
売上高 (百万円)	93,067	95,000	99,000
営業利益 (百万円)	1,077	900	1,200
経常利益 (百万円)	1,318	1,000	1,300
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	988	750	1,000
ROE	3.2%	2.4%	3.0%

6. ROE向上に向けた取り組みの方向性

- 引き続き、当社は「収益力強化」「経営基盤強化」「グループ総合力強化」に取り組み、社会的価値と経済的価値を高めることにより、ROE向上を目指す。



経済的価値



社会的価値

収益力強化



顧客のニーズに応じた
商品・サービスの提供

新規事業/事業領域の拡大

経営基盤強化



業務効率の改善

人的資本経営の加速

グループ総合力強化



事業ポートフォリオの
選択と集中

グループ連携強化



コーヒーという情熱

Appendix

7. 2030年のありたい姿



コーヒーという情熱

当社は企業理念に基づき、社会的価値と経済的価値を両立させ、「珈琲とKISSAのサステナブルカンパニー」として、あらゆるステークホルダーに対し価値を提供する会社であり続ける。

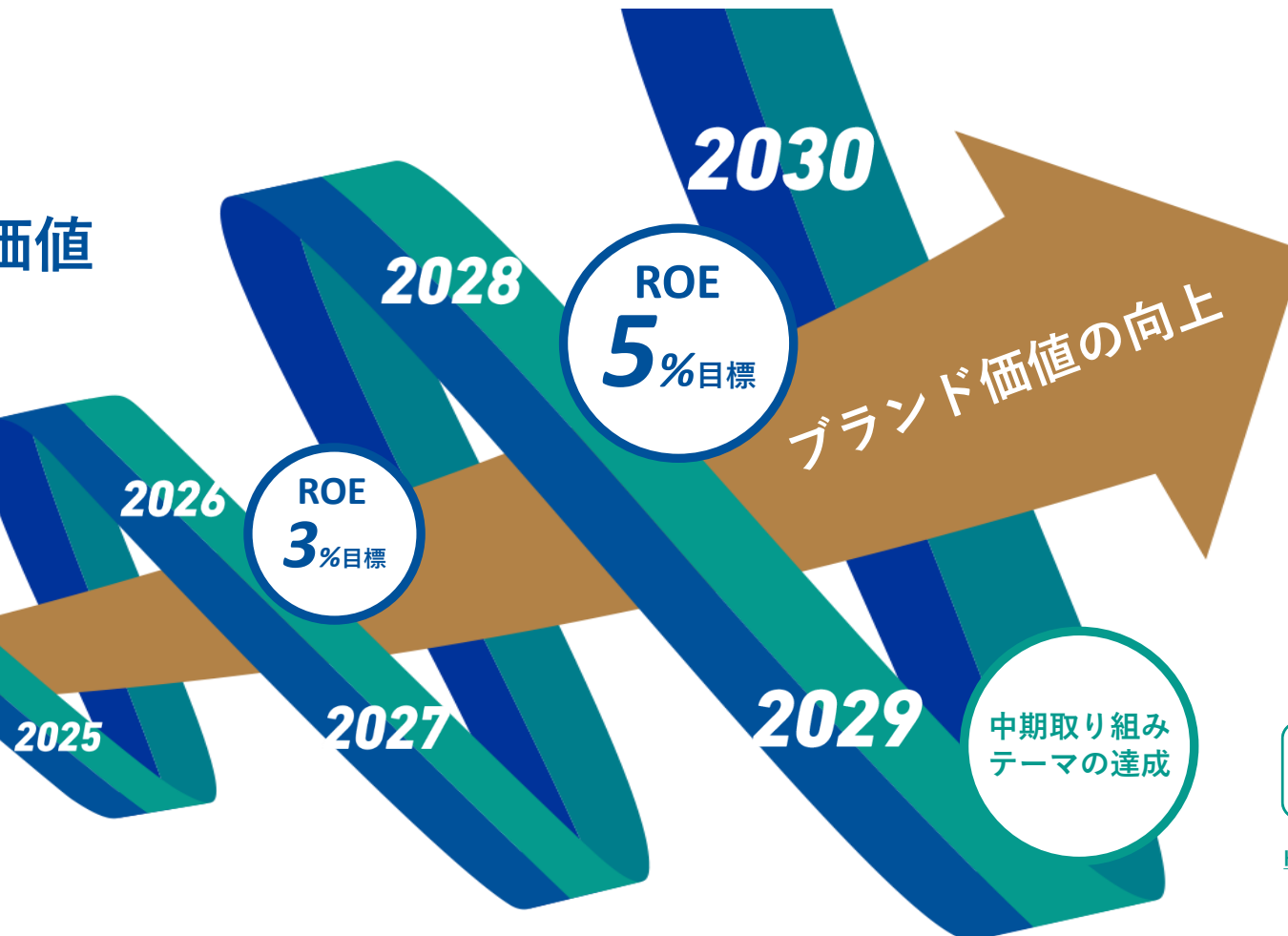


8. 2030年に向けた戦略の方向性

「品質第一主義」のもと、時代の求めるおいしさを常に探求し、社会的価値と経済的価値の両輪を踏まえた経営を行うことにより、キーコーヒーブランド価値を向上させ、2030年のありたい姿を達成する。経済的価値の指標として、2027年度までにROE3.0%、2030年度までにROE5.0%達成を目指す。



経済的価値



社会的価値



サステナビリティレポートへ

<https://www.keycoffee.co.jp/sustainability/report/> 参照



コーヒーという情熱

<本資料に関する注意事項>

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、記載されている将来の見通し等は、資料作成時点で入手可能な情報および合理的と判断される一定の前提に基づいています。これらの中には不確実性が含まれており、将来の数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。実際の結果は経済情勢、市場環境、為替や原材料価格の変動、自然災害等、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。また、当社はこれらの情報を将来的に更新または修正する義務を負うものではありません。

市場に関する情報は、正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行っていただきますようお願い申し上げます。また、本資料に基づいて発生したいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。

当社の事前の許可なく、本資料の全部または一部を複製・転写・配布することを禁じます。